

令和 2 年度 F D 実施報告書

研究科	栄養科学研究科
F D 取り組みへの理念・目標 令和 2 年度の大学院栄養研究科事業計画の教育計画に基づき、栄養科学研究科教員の教育・研究における質的向上を目指す。①教員の研究指導力・教育力の涵養、②社会人大学院生の学習プログラム作成、③グローバル教育の段階的推進を行う。	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
4 月 22 日	①教員の研究指導力・教育力の涵養 研究倫理の研修の一環として研究倫理教育教材の研究倫理 e ラーニング講座：事例で「学ぶ/考える」研究倫理-誠実な科学者の心得-の受講を説明し、研究倫理の修得をお願いした。また、学生アンケートで、実験、実習、演習について、座学などの講義形式で実施された科目があったとの回答があり、実践的な内容を期待していた院生との乖離がみられた点について今後改善することが検討された。
6 月 24 日	①教員の研究指導力・教育力の涵養 第 8 次中期総合計画の中で研究志向の教員組織の構築・育成を課題にあげ、留学未経験の教員へ留学を積極的に推奨することについて議論した。 ③グローバル教育の段階的推進 学外研究機関との共同研究や海外大学との研究提携を行うことを課題としてあげていたが、新型コロナウイルス感染症流行の中で海外との交流ができず、活発な議論は進まなかった。アジア栄養科学ワークショップの開催に奮闘したが、新型コロナウイルス感染症の流行で最終的には断念せざるを得なかった。
7 月 9 日	①教員の研究指導力・教育力の涵養 大学院生による中間発表会を開催した。前期課程 2 年生 3 名のうち、2 名が修士論文（特別研究 12 単位）の進捗状況を大学院担当教員、栄養科学部教員（助手等）約 30 名の前で、対面で発表した。持ち時間 15 分間であったが、多くの質問があり、学生はもちろん、教員にとっても充実した時間となった。
10 月 23 日	①教員の研究指導力・教育力の涵養 大学院特別講演会が開催された。今年は九州大学薬学部の石井祐次先生をお招きし、「内外環境の破綻による次世代影響：機構と予防」の演題で、約 70 分間講演して頂いた。教員および院生 20 数名の参加のもとで、講演終了後 20 分間活発な質疑応答がなされた。
12 月 1 日	②社会人大学院生の再教育プログラムを作成する。 第 1 回博士後期課程セミナー「リスク回避を目的とした野菜生産段階におけるリステ

12 月 16 日	リアの汚染機構の解析」の演題で、九州大学農学部の本城賢一先生に講演して頂いた。講演後には、食品安全の観点から有効な対策樹立について議論した。 ②社会人大学院生の再教育プログラムを作成する。 第 2 回博士後期課程セミナー「血糖の小窓から人を診る」の演題で、南昌江内科クリニック糖尿病臨床研究センター長の前田先生に講演して頂いた。講演後には。糖尿病患者増加問題について、臨床的な研究成果に基づいて、有効な対策樹立について議論した。
-----------	---

「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況

項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ループリックの導入	☐ 未着手 ☒ 検討中 ☐ 実施中 ☐ 実施済	
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☐ 実施中 ☒ 実施済	
教育方法の改善	アクティブラーニング(特に PBL)の推進 PBL：課題解決型授業	☐ 未着手 ☒ 検討中 ☐ 実施中 ☐ 実施済	
グローバル教育の推進	グローバル教育の導入	☐ 未着手 ☒ 検討中 ☐ 実施中 ☐ 実施済	

「FD2014」はサイボウズのファイル管理－「FD センター」にあります